

# 公民館報

町館信日円所  
戸常 15 15  
須公 月部堂  
中央 昭  
小中成毎一  
発行所 日  
発行日 昭  
発行所 昭

## 芸術とスポーツの秋を満喫！ 文化祭行事に多数の人出

～コシヒカリ無料プレゼントに人気集中～



七割の晴天率が示すように、今年も文化の日は晴天に恵まれ、中央公民館で行われた各種催物に多数の人出がありました。十月三十一日に行われた山の山文化祭、ギター定期演奏会、ジャズライブコンサートを皮切りに十一月三日には中央公民館を主催に、美術展覧会、無観客公開実験、健康展、農業祭などが盛大に開催されました。特に、恒例となった米まつりの主役ともいえるコシヒカリ無料プレゼントは圧倒的な人気を博し、日本一の米を求めて長蛇の列ができました。また、寿司コーナーでは昨年の二倍にあたる約八百人分の寿司も、作られた後からなくなると好評ぶり。



このほか、おでん屋、新鮮野菜即売会、モチつき大会など、どのコーナーもたいへんな繁盛ぶりでした。



他方、役場町民生活課主催の「健康展」もなかなか好評を博しています。三階大ホールで行われた第八回美術展覧会々場は、外の騒音から隔離された別世界の感があり、昨年にも増してレベルの向上を感じさせる秀作、力作が小須戸町文化の香りを漂わせていました。



このほか、恒例の柔剣道大会や、駅伝大会などの各種スポーツ大会も三日に行われ、終日賑やかな文化の日となりました。このほか、中央公民館では生花展や、町民茶会などが行われました。各種社会教育関係団体、自主的に催物を行うようになってきており、たいへん喜んでいきます。



### 山は今

おやまつしろう

淋しさの秋の深まりに  
木の葉の散る山狭  
やがてくる雪の冬に  
手をさしのべる  
つかのまのつり橋  
肩まで染まる  
日は高く風のないだ  
山は……今  
この日だけの  
彩りの木樹  
淋しさの秋の深まりに  
山道をたどる  
息のあえぎが  
切なくつたわって  
私の足もとを  
狂わせる  
誰もいない炭焼小屋  
湯呑みにあふれる清水の音  
あゝ貴女の目がうるむ  
紅葉の中で

### 教育映画の集い・ご案内

山の手地区で映写会を行います  
日時十一月二十八日(日)午後七時三十分  
会場矢代田保育園  
会名「善悪のけじめを育てる」ほか二本  
主催小須戸町教育委員会  
後援小須戸町教育委員会  
その他入場無料。多数ご来場ください。

### 県立南高校

#### 来年度より六学級募集

県立新津南高校

昭和五十五年四月一日に開校した県立新津南高校は、今年度より漸く全学年がそろい、生徒総数五百四十名になりました。来年度から恒久的に二年級増となり、一学年の募集定員が二百七十名と決まりました。九十名の増です。校舎もこれをみこして一学期に増築の管理、普通教室は全部で十八教室となりました。これからは環境整備と内部施設の充実が課題ですが、年々充足されていくものと期待しております。からの願いです。

### 父親と写真



東京理科大学教授  
詫摩 武俊

大部分の家庭では、子供の写真を撮るのは父親の仕事となつていきました。幼い子供の動作や表情は本当にかわいいので、父親たちは喜んで写真を撮ってくれます。乳幼児期は発達著しい時期です。一週間前までできなかったことが急にできるようになります。例えば、クッキーのようなのを初めは手のひら全体で握って食べています。指も口の周りもベトベトになります。そんな段階から、親指と人さし指で器用につかんで食べるようになるまで、それほど長い期間を必要としません。初めて二本の指でクッキーをつかんだときの表情など、ぜひ写真に撮っておきたいものです。カメラはほとんどの家庭に普及して、できるだけたくさん子供の写真を撮る



人間としての基礎、基本をしっかりと身につけて、生徒自身が学び方を学んでゆく学校が新津南高校であり、きびしさの中に温かさのある学校といつても過言ではありません。もう一度、谷川俊太郎先生作詞による素晴らしい校歌の一曲を紹介しましょう。空うつす川のはさまにふるさとを歴史をききみ生きてあるしるし問いつつわれらまた未来にいつか……

### シリーズ(その五) 中国みてある記

親松 四郎

(四) 天壇にて  
北京滞在二日目、路は広く整然として、大気の澄んだ朝方の冷気の中、ペリスは走る。街並は中国の首都そのもので近代なビルが建ち並ぶ。どれも高層。そのビルの上は、どこどころ中国風の屋根が形どられていてのが奇異に感じる。でもそれがお国ぶり。  
天壇に到着。一度でも良いから本物を見たいと思つていたところ。  
三層円型の殿堂、金箔の宝頂、濃い群青色の屋根、それは琉璃瓦、朱の柱そして金、木造建築として約千四百年頃建てられたとか、乾いた碧空に折年殿を見上げた時何ともいえない興奮を覚えた。梅原、安井の両画伯によつておなじみの天壇ではあるが、しばらく時を忘れて回音壁などで遊ぶ直徑六十五米の円型の壁内で二つに分かれて、誰かが話すと音が壁面に沿って流れて聞こえるという仕組みで欧米人(我々一行も)が喜んでいた。話し合っているさまはまるで子供のよう。やがて円丘壇の石の広場でウイング族の娘達に会う。ピンク、グリーン、赤の原色服、それに長靴をはきおさげの髪はリボン、珍客とばかりに一緒に写真をとる。テレビでおなじみのシルクロードに出てくる民族で、馬を駆りパオに寝る西域に住む人達であるが、ヨーロッパ的な顔をしていて、握手して別れる。  
中国は人口の上では九十四%漢民族であるが他は五十六%を数える民族で統一された多民族国家とされている。我々のように単一民族ではないので皆それぞれ固有の文化をもち、言葉もちがう為に中華人民共和国とひと

### 住宅のこと

(四) 住宅のこと  
住宅事情はお宅も中国も一緒です。でも現象は同じです。お宅のものは地価と材料と人件費が高くて住宅事情が大変だといふ事になります。中国ではマンションが、中団で建てているのが入居者が多いので、ちょっとやそつでは仲間間に合わないのです。順番がありますのでこの先まだ何年もかかりましょう。話題も豊富でしたが約一時間位で終了。  
市街地では個人住宅は許されず、国の建てたマンションに入居して貰う。  
農村では可、但し人口密集区域では個人住宅も出てきた。



